

ナカソネ ユミ
仲宗根 由美 様 (仮名)

沖縄県・神経性難病

【使用構成】

タイプ : MOMO

使用している腕 : 右腕

スプリング強度 : 強

使用リンク数 : 3本



MOMO を使えばできることが増えて、できなくなる時期を遅らせることができる。
ポジティブな気持ちをもって生活するために、早い時期から使い始めるべき。

食事介助を削減でき、他のサービスを受けられるようになった

沖縄県で保険代理店の共同代表を務める仲宗根さん(仮名)は、話し相手を元気にしてくれるような強いエネルギーを纏った方です。MOMO について思うところを率直に、熱い口ぶりでお話してくれたなかで、繰り返しおっしゃっていたのが、「MOMO は早い時期から使い始めるべき。」というご意見。もし進行性の疾患が発症したとき、「**MOMO があればできることを増やしたり、反対に何かができなくなる時期を遅らせることができる。** **外食を楽しんだり仕事を続けたりすることで、気持ちの落ち込みを和らげ、ポジティブな気持ちをもって暮らすことができる。**」と、ご自身の体験を基に精神的な効果が大きいことを教えてくれました。また、自分で食事ができるようになったので**食事介助を削減**でき、そのぶん余裕をもって**他のサービスを受けられる**ようになったとのこと。サービスの提供時間が限られているヘルパーさんの負担軽減にもつながっているようです。

**自分は良い時代に生きている**

ご自身が発症する以前に、進行性疾患の患者さんと関わった経験がある仲宗根さんは、その経験から「**福祉機器は昔より格段に進歩したし、普及も進んでいる。自分は良い時代に生きている。**」と感じている一方で、「足りないところはまだまだたくさんあるので、**良い福祉機器がもっと増えてほしい。**」と、テクノロジーへの期待を込めて話してくれました。発症前は車で積極的に営業に出かけ、気分転換に沖縄の海を眺めるのが楽しみだったという仲宗根さん。現在は「いつまでも自分がプレイヤーではダメだ。」と考えを改め、後進の育成に力を注いでいます。そのエネルギーをこれからも発揮し続けてもらうために、MOMO がお役に立てれば嬉しいです。

導入時期

2015年1月

導入前の状態

- 介護サービスを受ける際に、食事に割く時間が長かった。
- 機器を使って生活環境を整えてはいたが、自分に合う上肢装具は見つからなかった。

導入した理由

- 試してみるとすぐに前後左右の広い範囲で腕を動かせるようになったから。
- 自分一人でつけ外しができるから。

導入した効果

- できることが増えたので、精神的に前向きになった。
- 食事介助が大幅に削減できた。

使用時の工夫

- 巻いたタオルをエルボーレストに固定し重心を変えることで、腕を前方向へ動かしやすくしている。
- 台を使ったりテーブルとブラケットの間に木の板を挟んだりすることで、高さを調整している

お問合せ：テクノツール株式会社

Email: office@ttools.co.jp

www.ttools.co.jp

稲城事業所東京都稲城市東長沼 2106-5 マスヤビル 4F
Tel: 042-370-6377 / Fax: 042-370-6378**大阪営業所**大阪府岸和田市野田町 1-12-10 シルクルーム 501
Tel: 050-3772-1412 / Fax: 042-370-6378

※受付時間 月曜日から金曜日 10時～12時 / 13時～17時